

<金津地区>

開催日時:令和7年6月29日(日) 13時30分~
会 場:金津コミュニティセンター 大ホール

【参加者】コニ協:青木会長、齊藤副会長、清田会計、萱森事務局長 地区社協:源川委員長、和氣委員、齋藤委員、民児協:茨木会長、太田副会長、小坂委員、児玉委員、高橋委員、古津自治会:鈴木会長、割町町内会:阪井会長、朝日町内会:植木会長、西島自治会:佐久間会長、中村町内会:伊藤会長、金津自治会:臼井会長、西古津自治会:小幡会長、程島自治会:山田副会長、包括こすど:木村センター長、就労支援事業所メロディ:五十嵐代表
秋葉区社協:稻垣事務局長、秋山事務局長補佐、地区担当:岡村、吉田

地区別計画推進目標ごとに推進できうこと		地域の取組みをする上での課題解決のためにできること
1 明るく元気な地域づくり ①各行事に参加してもらうための工夫をしよう 見守りを兼ねた茶の間送迎支援の継続 ②行事を通じてコミュニケーションを図っていこう ・61回目の運動会(10/5)は、地域をこえて参加してもらう予定である。	3 健康で豊かな地域づくり ①地区社協や自治会で実施する茶の間やサロンの活性化を図ろう ・サロンへ笑顔で参加している。	【解決したい課題】隣近所の関係性を築くのが難しくなっている ・事業継続するための任期交代による引継ぎ
2 安全で安心な地域づくり ①隣同士の人間関係を構築しよう ・(防災訓練の検討)要支援者の把握の工夫、参加する工夫、要支援者避難計画の検討 ・7/5(日)西島では、組長全員参加で防災・避難訓練の予定している。(春、秋) ・割町は防災訓練を呼びかけ、希望をとらず家の中でできることで全員参加とした。 ・今年度、避難所である小学校と一緒に使う3自治会で、初めて運営訓練予定している。 ・防災訓練は、イベントも企画し人が集まるように工夫、高齢者が参加しやすい10月に変更した。 ・組長は安否確認と各世帯の人員聞き取りも行い、役員は避難所を立ち上げ、役割分担をして訓練を行った。 ・要支援者であることを知られたくない人や遠慮して要支援者にならない方も多い。 ・組長交代時、防災倉庫の確認作業を行っている。 ・地区社協の委員の避難所運営の関わり方や役員以外のみんなが避難所運営に参加できる仕組みづくりを検討する。	4 相談しやすい体制づくり ①相談しやすい体制づくり (自治会町内会と民生・児童委員との連携のしくみづくり) ・地域における見守り訪問の取組み検討 ・地域の担い手となる事業の展開(メロディ) ・敬老会はさくら会が実施し、民生委員からも協力してもらう。 ・友愛訪問では徐々に対応の仕方を学んだが、見守りの立ち上げがまだの地域もある。 ・1回/月の定例会で自治会と民生委員の情報共有を行い関係を深める。 また、要支援者やニーズを知る立場として自治会とつながることが大切。 ・役員、民生委員含め課題がわからないため、任期交代で課題検討のつみあげになつていな い。 ・茶の間でメロディの取り組みを説明してもらった。 ・回覧板はなかなか見ないので、全戸配布してはどうか。 ・西古津では、見守りを自治会長、民生委員、老人クラブで連携し情報共有の輪をつくつ いる。 ・区社協と地区社協の役割がわからない住民が多い。	地域の課題・そのためにできうこと
②ながら見守りの強化を図っていこう ・話し相手を欲しがっている人も多い ・見守りは、行き過ぎて見張りとならないよう丁度よい距離感で行う ・黙って立っていると子どもたちは不審者と思っているので、顔の見える関係性、コミュニケーションが大切である ・様々な方から参加者を増やすとよい	②SNSを使った情報発信をしよう	
③子どもの見守り体制の充実を図っていこう ・ぴいす金津の事業継続のための意識付け ・児童安全パトロールの継続と連携 ・7/4~子どもの居場所づくりスタート、9回/年の予定で試行的実施。 →上手くいけば次年度本格的に実施する。 ・コニセンに小中学生が来るようになった。 ・子どもからのあいさつが少なくなった。 ・防災無線を活用して挨拶を広めてみてはどうか。 ・子どもにあいさつは、将来の金津をつくるためにも大切である。		